

診療放射線技師の静脈路確保に伴う検査の実態と意識調査に関する研究

1. 研究の対象

令和4年12月26日～令和5年2月28日、令和5年5月1日～令和5年6月30日に当院でCTおよびMRIの造影剤検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的：造影剤投与の為の静脈路確保を看護師に代わり技師が行い、待機時間に変化があるのか比較検討およびスタッフの意識調査を行うこと

方法：CTおよびMRIの造影検査全1019例を対象に静脈路確保に伴う待機時間を記録し、比較検討を行った。

各期間で看護師16名、技師19名に意識調査を行った。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：①造影検査の静脈路確保に伴う待機時間（看護師を呼び出してから到着までの時間）

②意識調査結果（放射線科内の看護師16名、技師19名）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 福本 沙也香

-----以上